

瑞穂市

自治会ハンドブック



平成30年4月

瑞穂市

2018 自治会長カレンダー

	5月	6月
自治会長さんにお世話になる今年度の主な行事等の予定です。 (平成30年4月24日現在) よろしくお願ひします。	役員会 16日 広報配布 30日	広報配布 28日
	日本赤十字社社資 自治会活動振興交付金申請	
7月	8月	9月
広報配布 30日	役員会 22日 広報配布 30日	広報配布 27日
社会福祉協議会会費		
10月	11月	12月
広報配布 30日	瑞穂市防災訓練 (穂積校区) 11日 役員会 広報配布 29日	事業報告会 20日 広報配布 26日
敬老事業助成金書類提出	緑の募金 共同募金	
1月	2月	3月
広報配布 30日	役員会 13日 広報配布 27日	広報配布 28日
新年度自治会長の報告		→ 自治会活動振興交付金実績報告 (添付資料:決算報告・事業報告)

※広報配布日の午前中に、市役所へ納品されますので、当日午後からの配布となります。よろしくお願ひします。

※自治会加入世帯数、広報配布数等に変更が有った場合は、市役所市民協働安全課(Tel058-327-4130)まで、ご連絡をお願いします。

目 次

1	はじめに	1
2	校区自治会連合会について	3
3	単位自治会の運営について	6
1	瑞穂市の自治会加入率	6
2	規約	6
3	役員について	6
4	自主防災組織を結成しよう！	7
5	自治会の運営	8
6	予算及び決算	8
1	自治会（単位自治会）の事業計画書（事例）	9
2	自治会の予算書（事例）	9
3	自治会の決算書（事例）	11
4	自治会の事業報告書（事例）	13
5	自治会の監査（事例）	14
6	自治会の総会（事例）	15
4	自治会への補助・助成金・申請等	20
①	広報掲示板設置申請書	21
②	自治会活動推進事業交付金	24
③	地域集会施設建設事業補助金（公民館補助金）	32
④	自主防災組織活動補助金	39
(1)	防災訓練実施事業	
(2)	消防防災資機材購入等事業	
(3)	防災倉庫設置事業	
(4)	防災士資格取得事業	
⑤	防火戸及び消火栓（新設・移転・修理）申請書	58
⑥	公、私設消火栓使用許可申請書	59
⑦	コミュニティセンター施設使用料減免制度	61
⑧	地縁による団体の認可申請	61
⑨	固定資産税減免制度	61
⑩	地縁団体等の法人市民税減免制度	61
⑪	敬老事業の実施と敬老事業助成金の交付について	62
⑫	水路・側溝等清掃用ダンプ等、側溝蓋上機借用依頼書	71
⑬	街路灯・交通安全施設申請書	71

⑯ ごみ集積場（設置・移設）補助金	80
⑰ 出前講座講師派遣申請書	88
⑱ 生涯学習地域振興組織補助金	92
⑲ 公民館・公共施設使用料減免制度	92
5. 市から自治会長さんにお願いすること等	93
6. 瑞穂市役所の組織	95
☆瑞穂市の自治会の概要	96
☆自治会加入促進マニュアル	102
☆自治会個人情報保護マニュアル	114



自治会はコミュニティ活動の 基本的な組織です。

コミュニティ活動については、「瑞穂市まちづくり基本条例」に次のように謳われています。

**第 9 条 市民は、安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会を実現するため、
自治会等の地域のコミュニティに対する理解を深め、自主的な意思によってまち
づくりに取り組み、お互いに助け合い、地域の課題を共有し、解決に向けて自ら
行動するよう努めます。**

つまり自治会は、「まちづくり基本条例」の目的とする、市民が主体の市民参画による協働のまちづくりを推進するための組織であり、同時に、市民が主権者として、まちづくりに参画するための組織です。

そして、第 5 条には、市民の権利と責任として、

「まちづくりの主体であることを認識し、居住する地域の自治組織に加入し、及び協力しながら活動するよう努めます。」とあります。

その責任を実現するための市民の地域における活動の役割は、自治会に対する理解を深め、自主的な意思によってまちづくりに取り組み、お互いに助け合い、問題を共有し、解決に向けて行動することです。

また、少子高齢化、核家族化などにより、生活拠点での家族の単位が極小化している現代社会においては、市民の日々の生活には、不安と緊張感が身に迫っていると考えられます。具体的には、高齢者の孤独死や孤立した子育て環境など、助けてもらいたいのに、助けてくれる人がいないという状況があります。

皮肉にも東日本大震災などの災害は、日本人が地域のコミュニティにもう一度目を向けるきっかけとなりました。地域で協力し、助け合うことが、自分や家族、地域を守るためにどれだけ大事なことなのかを認識したのです。

それは、災害時だけではありません。日常の生活の中で、「おたがいさま」という気持ちと人ととの絆や信頼関係を築くコミュニティの単位が自治会なのです。

自治会においての地域コミュニティ力の高さは、「地域問題」に向かい合う意志の強さであると考えます。地域の問題を共有し、お互いに助け合い、解決に向けて自ら行動する組織が自治会です。

しかし、近年、自治会の加入率が低下傾向です。

地域によっては、多くの転入があり、把握が難しい場合もあります。各自治会の中には、班分けや区分けがあり、それぞれ班長等の役員をお世話になっていると思います。単位自治会の中の最小の単位ごとに、それぞれ加入促進に努めていただくことが何より大事です。

自治会長の皆様には、自治会の重要性をご理解いただき、自治会の中で共通理解していただき、自治会の中で協力体制をつくって、今後も加入促進に努めていただきますよう、お願いします。

※「自治会加入マニュアル」(P102)をご利用ください。

ひとつの自治会から、校区連合会へのステップアップ！

平成30年4月 1 日現在、多くの小学校区で連合会が立ち上がり、ひとつの自治会では対応の難しい地域課題に対応するための取り組みがスタートしています。

市は、地域課題に柔軟に対応できる校区連合会等の取り組みへの支援と、まだ校区連合会が立ち上がっていない校区へのサポートを進めています。

2 校区自治会連合会について

校区自治会連合会設立の目的について

地域のみんなで考え、話し合って
自分たちの思いを
実現する地域を
自分たちでつくろう！

地域性を活かし、
安全で安心なまちづくりを進めましょう。

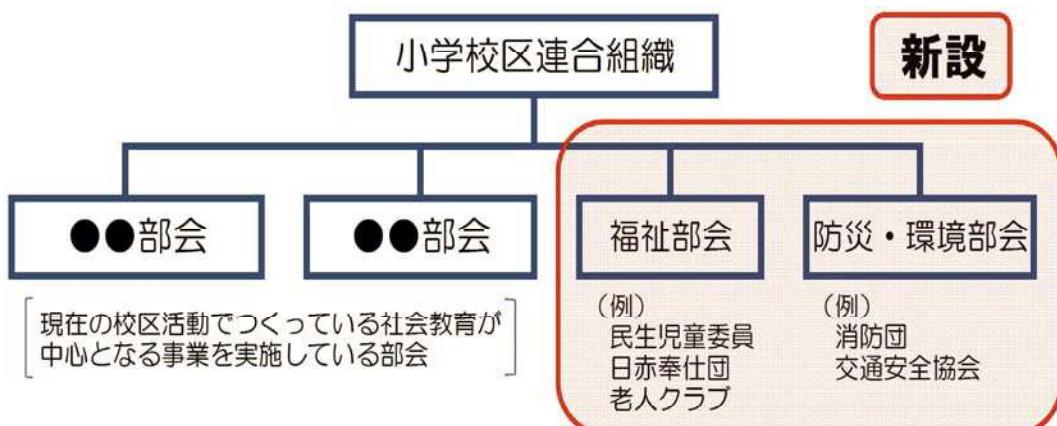
人口減少や高齢化への懸念が全国的に広がっていますが、将来的には瑞穂市も状況は同じです。それは、活動がもままならない自治会が出てくる可能性があることも意味します。

一つの自治会では出来ない地域の課題を解決するために、校区の連合会として、お互い助け合える組織をつくる必要があります。そして、これから解決する必要が出てくる地域課題（防災や福祉など）に備えることが大切です。

校区連合会は、小学校区内の各単位自治会と関係団体が関わり、みんなで話し合い、地域のために活動するコミュニティ組織です。住みよいまちづくりは、自治会長だけでなく、各種団体の代表者が話しあい、会員を含めて、それぞれの分野で役割分担をして、助け合うことから始まります。

★校区自治会連合会 組織の例

必要な事業を行うための部会をつくり、分野ごとに役割分担することで、自治会長等一部の方に負担がかからない、みんなで取り組むことができる組織をつくろう！！



- 各部会は、その分野に長けた人、熟知している団体、人を中心構成します。
- 部会長は、自治会長である必要はありません。
- 小学校区連合組織のイメージは、現在の校区活動に今後、必要度が高くなる事業を実施するための部会（例えば福祉部会、防災・環境部会等）を新たに加えるイメージです。

校区連合組織の構成イメージ(案)

校区の事業

運動会、クリーン活動、防犯活動(青パト等)、防災事業(避難所開設訓練等)、買い物支援など
校区で実施した方が効率的、効果が高い事業

校区連合組織(構成団体の代表者)

財源:市補助金、事業実施による収益、会費等

構成団体	氏名
自治会長	
民生児童委員	
社会教育推進員	
老人クラブ	
交通安全協会	
消防団	
市民消防隊(仮)	
子ども会	

構成団体	氏名
小学校PTA	
中学校PTA	
女性防火クラブ	
体育協会	
女性の会	
福祉協力員	
日赤奉仕団	
青少年育成推進員	

構成団体	氏名
スポーツ推進委員	
自主防災組織	
NPO	
学校関係者	
区長	

補助金(交付金)

情報共有・連携

会費
役員選出

B自治会

C自治会

D自治会

A自治会

自治会長、民生児童委員、社会教育推進員、老人クラブ、交通安全協会、消防団、市民消防隊(仮)、
子ども会、小学校PTA、中学校PTA、女性防火クラブ、体育協会、女性の会、福祉協力員、日赤奉仕団、
青少年育成推進員、スポーツ推進委員、学校関係者、NPO、自主防災組織

※各種団体を自治会内に位置づける必要がある。

※会費については要検討

校区連合組織を推進するため

行事・事業の棚卸し(整理)をする。

- ・校区でやるべきもの
- ・自治会でやるべきもの
- ・やめるもの

役割分担(協力し合える体制づくり)
※自治会長に役が集中しないように。
※時代にあった組織作り

小学校区自治会連合会の現状【平成30年4月1日現在】

組織	組織	社会教育	防災	福祉	その他
生津 H28.3.25)	【設立】平成26年4月15日 【名称】生津自治区連合会(名称変更是は ふれあい活動委員会)に一体化 【役員】会長を自治会長OBから選任(年度)	クリーン活動 夏祭り 体育祭 交通安全看板点検 防災訓練 ワオーワーク	避難所(生津小学校)の開設・運営方 法について具体的に検討中 避難所確認訓練実施(H30.2)	H29 地域支え合い推進会(第2層協議体)設 置説明会を自治会連合会主催で実施する予定 (10/10or11月に打合せ予定) H30 地域支え合い推進会議(第2層協議体)を 開催予定 (夏祭り以降)	防犯パトロール実施 校区・小地域福祉活動サミット参加 同サミット振り返りの会(2/2)
本田 H29.1.1)	【設立】平成26年12月1日 【名称】本田校区自治会連合会 【形式】構成は自治会長のみ	自治会連合会としての活動なし ※いきいき活動委員会として実施 ・いきいきフェスティバル ・ボランティア清掃 ・夏祭り ・スポーツフェスティバル ・研修会	避難所開設運営訓練実施(H29.11)	H29 地域支え合い推進会議(第2層協議体)設 置説明会の開催(7/14、7/17開催済・参加者55 名)	年2回程度の会議のみ
穂積 H29.1.1)	【設立】平成29年4月 【名称】わくわく活動委員会 【形式】わくわく活動委員会に一体化	・桜ウォーキ ・運動会 ・クリーン活動 ・研修会	避難所開設・運営訓練実施 (H29.11穂積中・H29.12穂積小) 校区消防隊設立 (連合会組織とは別) 朝日大学への避難訓練を予定している自 治会にて来年度の訓練実施について 協議	H28 地域包括支援システム説明会の開催 H29 穂積小校区地域支え合い推進会議準備会 開催(第2層協議体の準備会・7/20、9/26開催。 今後月1回ペースで開催予定) 研修会参加(8/19長野県富田村) 穂積小校区地域支え合い推進会議開催(3/24)	校区・小地域福祉活動サミット参加 同サミット振り返りの会(2/2)
牛牧 H30.3.25)	【設立】平成28年4月1日 【名称】牛牧校区自治会連合会(友愛会) 【形式】友愛会に一体化 平成30年度に向けて防災・福祉部会の創設準 備	クリーン活動 夏祭り リバーサイドフェスタ 社会見学 五六川親水公園・桜公園の清掃	避難所開設運営訓練実施(H29.12)	H28 地域包括支援システム説明会の開催 H29 地域支え合い推進会議(第2層協議体)設置説 明会開催(11/15、11/21、11/23、11/25) H29.10.29福祉フェスティバルに友愛会として参 加	校区・小地域福祉活動サミット参加 同サミット振り返りの会(2/2)
西 H30.3.25)	【設立】平成30年4月1日 【名称】西校区自治会協議会 【形式】構成は自治会長+(自治会長経験者)	各自治会で実施 ・クリーン活動 ・ラジオ体操 ・夏祭り ・スポーツフェスティバル	避難所確認訓練実施 (H30.2西小・美南中) 校区消防協力隊設立	H29 地域支え合い推進会議(第2層協議体)設 置説明会の開催(7/24開催・参加者35名)	校区・小地域福祉活動サミット自 同サミット振り返りの会(2/2)
中 H29.8.1)	自治会長が毎月1回集まる会を実施	東南中学校区活動委員会として実施	避難所確認訓練実施(H30.2) 校区消防協力隊設立	H29 地域支え合い推進会議設置説明会の開催 (8/21、8/2開催・参加者20名程)	校区・小地域福祉活動サミット参加 同サミット振り返りの会(2/2)
南 H29.8.1)	平成29年8月～連絡会開催 (今後定期的に開催予定)	・	避難所確認訓練実施(H30.1) 校区消防協力隊設立	H29 地域支え合い推進会議(第2層協議体)設 置説明会の開催(7/19、7/23開催済・参加者24 名)	校区・小地域福祉活動サミット参加 同サミット振り返りの会(2/2)

3 単位自治会の運営について

1 瑞穂市の自治会加入率

瑞穂市の自治会加入率は年々低下傾向にあり、平成30年4月時点では下表のとおり70.3%となっています。この原因としては、瑞穂市では人口の流出入が激しいことに加え、単身世帯の増加等が主な要因と考えられます。

しかし、今後起こりうる災害や非常事態においては、地域のつながりがとても重要となります。平成23年3月に発生した東日本大震災の対応においても、発生直後のご近所同士の安否確認やその後の行政との連絡調整など、普段から自治会活動を通して人々の「絆」をつくりていた地域ではその対応や連絡がとてもスムーズに行えました。

地域の絆を深め、地域を安全・安心で住みよいまちにしていくためにも、自治会の加入促進、活発な自治会活動にご協力をお願いします。

瑞穂市世帯数 (外国人含む)	20, 883世帯
自治会加入世帯数	14, 691世帯
加入率	70. 3%



2 規約

自治会活動を行うにあたり、活動内容、自治会費など、自治会活動の基本ルールとなる規約を定めておく必要があります。会員の合意を得て、地域の実情に合った規約をつくり、活発で持続的な自治会活動を行いましょう。

※規約の例は18ページに記載してあります。自治会の規模や活動内容などに応じて組織内容を変更するなど、会の実情に合った規約をつくりましょう。

3 役員について

自治会が円滑に活動していくためには、それぞれの役員の役割を明確にすることが大切です。役員は総会の決定事項に従い、日常的には会員の意見を聴き、また情報を伝達しながら自治会の目的を実現させるために存在し、対外的には会を代表しなければなりません。主な

役職とその役割は以下のようになります。

会長	自治会の代表者。対外的な情報伝達、役員や会員のとりまとめ、自治会活動の環境づくりなど。
副会長	自治会長の補佐、会長と連携しての自治会の運営
書記	会の運営、自治会が行う事業に関する記録など。
会計	現金・預金の管理、会計書類の整理、会が所有する備品等の管理等
監事(監査)	会計帳簿類・決算書類のチェック、会計事務の監査、総会での報告等
顧問・相談役	会長経験者に就いてもらう。自治会運営のアドバイス等
その他の役員	会の規模により、班長・組長などを置く。地域ごとの取りまとめ

役員の引継ぎは、継続した自治会活動を実現する上でとても重要です。年間の活動に関する手続き等の流れをまとめたファイルを作成し、補助金申請書類などの重要書類は複写を残しておくなど、新たな役員の方が円滑に活動できるようにしておきましょう。事業の継続性をもたせるために、役員全員が一度に交代するのではなく、任期をずらして半数ずつ交代するなど工夫して引継ぎを行うことも一つの方法です。また、自治会長を終えられた方等が顧問や相談役として、自治会運営をサポートする体制を整えられる自治会も増えています。地域のみなさんで、役割分担を上手にして協力していくことが重要です。会議についても、組長・班長のみでなく、各種役員の方も参加していただくよう工夫します。

※自治会長が年度の途中で交代した場合、市役所市民協働安全課(TEL327-4130)までご連絡ください。

4 自主防災組織を結成しましょう！

災害が起こったときは、消防や警察、市などの防災機関が全力を尽くしても、すぐに市民の救出、避難の活動を行うことが困難になることが予想されます。

災害による被害の軽減には、市民一人ひとりが日頃から災害について考え、自らその家族や地域を守るために必要な防災に関する知識・対応能力を備えることが重要となります。

例えば、大地震の時には、市民が自主的に初期消火をし、みんなで助け合って負傷者や病人を助けることが必要となります。これらのことを行なうことを住民が団結して組織的に行動すれば、大きな力となります。そのためには皆さんの自治会の組織に応じた自主的な防災組織を結成し、日頃から大災害が発生した場合を想定して訓練を積み重ねていくことが重要となります。

瑞穂市においては、すでに76の自治会(77.6%)で防災組織が結成されています。(平成30年4月時点)。地域の安全・安心のためにも、自主防災組織の結成にご協力をお願いします。(自主防災組織については瑞穂市自主防災組織マニュアルをご参考ください。)

※自主防災組織に関する助成については、39ページをご覧ください。



5 自治会の運営

自治会では、年間のスケジュールや、予算・決算、行事の内容等について会議を開催します。自治会が民主的な組織として運営されるために、会員の合意形成の場として総会や、総会の議決に従って会を運営していくための役員会などを行います。

また、会員名簿は自治会に誰が加入しているかを表すものであり、災害時における連絡や安否確認などに役立ちます。個人情報に対する意識の高まりから、名簿の作成が困難な場合もありますが、情報の管理について説明することで理解を得ることが必要です。

個人情報の取扱については別途「自治会個人情報保護マニュアル」をご覧ください。

6 予算及び決算

事業計画書・予算案は、規約で定めた自治会活動を具体的に進めるための裏付けとなるものです。下記の事例を参考にしていただき、地域の状況に応じて、活性化が図られるよう工夫した総会資料の作成をお願いします。

予算・決算作成上のポイントは、主に以下の4点です。

- ・事業計画を立て、それに基づき予算編成をする。
- ・会員、また第三者にも分かりやすい内容に整理する。
- ・会計の帳簿や領収書等の整理はしっかりと行う。
- ・会の運営に対する理解と協力が得られるよう、年1回は必ず総会を開催し、会計監査、決算報告(事業報告)及び予算・実施計画の審議等を行う。

1 自治会(単位自治会)の事業計画書(事例)

自治会の事業計画は、1年間の活動指針となるものです。住民の意見を反映し、新しい企画をみんなで練りましょう。

平成〇〇年度事業計画書(例)

実施時期	事業内容
4月	総会
5月	ゴミゼロ運動 用排水路清掃
6月	グランドゴルフ大会
7月	
8月	クリーン活動 盆踊り大会
9月	敬老会
10月	運動会 防災訓練
12月	年末懇親会
2月	もちつき大会
3月	

○毎月第1土曜日 自治会役員会議



2 自治会の予算書(事例)

自治会の収入としては、会費のほか寄付金、補助金、預金利息などがあります。収入科目は、これらをもとに設定します。支出科目は、会議費、事業費、負担金、助成金、予備費などがありますが、活動内容によって異なります。

また、自治会の会計は原則的には一つだけで運営するのが望ましいのですが、お祭りや自治会集会施設の改築等、多額の費用を要するもので、通常の支出と分けたほうがよいものについては別途特別会計を設けるとわかりやすくなります。特別会計を設ける際は、予算書や決算書において特別会計についても記載する必要があります。

①収入の処理

- ・収入科目(会費、助成金など)ごとに帳簿を作成し、収入明細(収入年月日、金額、収入先、単価、人数など)を記入する。
- ・収入の証拠書類を日付順に整理し保管する。
- ・収入した現金は速やかに預金し、手元に現金を置かないようにする。
- ・預金後は、通帳の金額と帳簿の記載した金額に相違がないか確認する。

②支出の処理

- ・支出科目(会議費、事務費など)ごとに帳簿を作成し、支出の明細(支出年月日、金額、支出先、購入品名、単価、数量など)を記入する。
- ・支出の証拠書類(領収書、口座振替伝票など)を日付順に整理し保管する。
- ・領収書等の金額と通帳に記入した金額に相違がないか確認する。

予算書(例)

平成〇〇年度　〇〇〇自治会収支予算書

平成〇〇年4月1日～平成〇〇年3月31日

収入額　〇,〇〇〇,〇〇〇円

支出額　〇,〇〇〇,〇〇〇円

差引残高　　〇円

【収入の部】

単位:円

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	説 明
1 会 費	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	@〇〇円×〇〇戸
2 交 付 金 補 助 金	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	自治会活動振興交付金〇〇円、自主防災組織育成補助金〇〇円、側溝清掃交付金〇〇円、敬老会補助金〇〇円
3 使 用 料	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	公民館使用料
4 預金利子	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	
5 雜 入	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	
6 繰 越 金	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	前年度繰越金〇〇円
収入合計	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	

・「会費収入」で、世帯数を確認いたします。

・「市補助金」が収入項目にあることを確認いたします。

【支出の部】

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	説 明
1 事 業 費 行事費	○○,○○○	○○,○○○	○○○	
	○○,○○○	○○,○○○	○○○	盆踊り
	○○,○○○	○○,○○○	○○○	
	○○,○○○	○○,○○○	○○○	用水路清掃
	○○,○○○	○○,○○○	○○○	
2 会 議 費	○○,○○○	○○,○○○	○○○	
3 事 務 費 消耗品費	○○,○○○	○○,○○○	○○○	事務費○○円
	○○,○○○	○○,○○○	○○○	
	○○,○○○	○○,○○○	○○○	
4 ○○○費	○○,○○○	○○,○○○	○○○	
5 負担金助成金	○○,○○○	○○,○○○	○○○	○○○助成金
6 慶弔費	○○,○○○	○○,○○○	○○○	○件
7 雜 費	○○,○○○	○○,○○○	○○○	
8 予 備 費	○○,○○○	○○,○○○	○○○	
支出合計	○○,○○○	○○,○○○	○○○	

* 本年度予算額の収入合計額と支出合計額は、一致します。前年度予算額も同様です。

* 予算額に不足が生じた場合は、流用をします。

3. 決算書(事例)

会計年度(4月1日から翌年3月31日までが一般的)が終了したら、1年間の収入・支出の状況を一覧表にした決算書を作成します。収入と支出の科目ごとに作成した帳簿を集計し、その合計額を決算書に記入します。決算書が完成したら証拠書類や預金通帳、定期預金、証書などを添えて監査をうけます。

決算書(例)

平成○○年度 ○○○自治会収支決算書

平成○○年4月1日～平成○○年3月31日

収入額 ○,○○○,○○○円

支出額 ○,○○○,○○○円

差引残高 ○○○,○○○円(翌年度へ繰越)

【収入の部】

単位:円

科 目	当 初 予 算 額	収 入 済 額	比 較	説 明
1 会 費	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	@〇〇円×〇〇戸
2 交 付 金 補 助 金	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	自治会活動振興交付金〇〇円、自主防災組織育成補助金〇〇円、側溝清掃交付金〇〇円、敬老会補助金〇〇円
3 使 用 料	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	公民館使用料
4 預 金 利 子	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	
5 雜 入	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	
5 繰 越 金	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	前年度繰越金〇〇円
収入合計	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	

・「市補助金」が収入項目にあることを確認いたします。

【支出の部】

科 目	当 初 予 算 額	決 算 額	比 較	説 明
1 事 業 費	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	
	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	盆踊り
	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	
	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	用水路清掃
2 会 議 費	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	
3 事 務 費	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	事務費〇〇円
	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	
	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	
4 ○○○費	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	
5 負担金助成金	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇助成金
6 慶弔費	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	〇件
7 雜 費	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	
8 予 備 費	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	
支 出 合 計	〇〇,〇〇〇	〇〇,〇〇〇	〇〇〇	

4. 事業報告書(事例)

事業計画に沿って、実際に行った事業を報告書にまとめます。この報告書と決算書により、1年間の活動を振り返り、翌年の運営について企画を練りましょう。

平成〇〇年度事業報告書(例)

実施時期	事業内容
4月〇日	総会
5月〇日	ゴミゼロ運動 用排水路清掃
6月〇日	グランドゴルフ大会
8月〇日 〇日	クリーン活動 盆踊り大会
9月〇日	敬老会
10月〇日 〇日	運動会 防災訓練
12月〇日	年末懇親会
2月〇日	もちつき大会
3月〇日	役員会

5. 監査(事例)

監事は、予算の執行状況や財産の管理状況について監査し、その結果を役員会や総会に報告します。監事は監査を通じて、会の目的に沿った事業が進められているかを確認するという職務を担っています。書類を調べることもなく監査報告書に記名・押印するようなことは慎むべきです。

監査の一般的な留意点

- ・帳簿や決算書の金額に記入誤りや計算上の誤りはないか。
- ・帳簿や決算書の金額と領収書等の証拠書類の金額は一致しているか。
- ・領収書等の証拠書類はすべて揃っているか。
- ・決算書の収入・支出の差引残高(繰越金)は通帳残高と一致しているか。
- ・資産状況について、適切に管理されているか。

監査報告書(例)

監 査 報 告 書

平成〇〇年度〇〇自治会の収入・支出決算について、慎重に監査を執行した結果、収入・支出ともに適正に処理されていたことを認めます。

記

- 1 平成〇〇年度の諸支出金は、それぞれの目的にそっている。
- 2 諸帳簿、証拠書類は、いずれも適正である。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇自治会

監事 〇〇 〇〇 印

監事 〇〇 〇〇 印

※署名及び印影の複製防止のため、原本は別に保管しています。